

平成21年度 社団法人 大阪府臨床検査技師会 第2回定期総会（平成22年度予算総会）

次 第

- 日 時 平成 22 年 3 月 20 日（土）午後 3 時 40 分～同 4 時 50 分
場 所 大阪産業創造館 5 階研修室 A・B
- 次 第
1. 開会の辞
 2. 表彰
 - 1) 永年会員表彰
 3. 議長選出
 4. 議長挨拶
 5. 総会役員選出
 - 1) 資格審査委員兼議事運営委員任命
 - 2) 書記任命
 6. 会長挨拶
 7. 資格審査報告
 8. 議案審議
 - 1) 第 1 号議案 平成 22 年度各部事業計画案に関する件
 - 2) 第 2 号議案 平成 22 年度予算案に関する件
 - 3) 第 3 号議案 平成 22・23 年度役員選任に関する件
 - 4) 第 4 号議案 日本臨床衛生検査技師会総会代理人選出の件
 - 5) 第 5 号議案 その他
 9. 議事録署名人選任
 10. 総会役員解任
 11. 議長挨拶
 12. 閉会の辞

議事録（概要）

1. 開会の辞

定刻どおり、司会の運天副会長より平成22年度予算総会開会の辞。

2. 表彰

1) 永年会員表彰

運天副会長より表彰された71名全員の名前が呼ばれた。
今井会長より、永年会員表彰71名を代表として江川 和美氏（大阪府立成人病センター）に永年会員表彰が授与された。

3. 議長選出

議長の選出については総会出席会員の中から立候補がなかったため、執行部に一任され、司会の運天副会長より、片山 智永子（榊大阪血清微生物研究所）、真鍋 史朗（京阪病院）の2名の提案があり出席会員の拍手多数をもって承認された。

4. 議長挨拶

片山議長より、議長就任の挨拶。

5. 総会役員選出

1) 資格審査委員兼議事運営委員任命

片山議長より、資格審査委員兼議事運営委員として理事から井戸田理事、高田理事の2名と、会員から野村 ちづる（住友病院）、池田 勝美（城山病院）、近藤 進平（新大阪健診クリニック）、の3名が

選任され、両委員会の委員長に井戸田理事が選任された。

2) 書記任命

片山議長より、事務所職員岩崎、仲野の2名が任命された。

6. 会長挨拶

本日は、多数の方に集まりを頂きまして有難うございます。平成21年度第2回定期総会において平成22年度の事業計画と収支予算計画を報告いたしますので、どうかご審議の程よろしくお願いたします。

7. 資格審査報告

井戸田資格審査委員長より資格審査報告があり、本日の会員出席者数60名、委任状数1,990名、計2,050名で正会員数の過半数を超えており、本総会は成立するとの報告があった（平成22年3月20日現在の会員総数は3,009名）。上記報告を受け、片山議長より定款22条に基づき本総会の成立宣言がなされた。

ここで、議長を真鍋氏に交代した。

8. 議案審議

1) 第1号議案 平成22年度各部事業計画案に関する件

1. 総括

平成22年度の事業計画案の総括を報告いたし

ます。平成22年度においても、基本的には大きく変わることは無くこれまでの流れを踏襲していきます。まず、公益法人改革ですが、この1年間周到に準備を重ね、これを平成22年度中には実現させる予定で、例年、力を入れて実施している各種の公益事業をさらに充実させて継続いたします。中でも、データ標準化事業は、我々臨床検査技師に与えられた最も重要な公益事業であると認識しています。平成22年度で3年目を迎え昨年度・一昨年度の経験を活かしより一層具体的な活動へと進展させていくつもりです。学術活動は日本一の実績をもち、我々の誇りとするもので、平成22年度においても、引き続き、教育機関ともよく連携し、卒後教育の強力な担い手となるべくよりいっそう力を注ぎたいと考えています。さらに、学術分野に限定することなく、たとえば内視鏡検査など、新たな職域拡大を目指した新規事業にも積極的に取り組みます。

昨年10月より、大臨技ホームページに求人掲示板を新設し今日までにすでに50件ほどの利用があり大変好評です。このように、年度の途中であっても会員にとって有用であると思うものは随時取り上げて行きたいと考えています。平成22年度も多くの事業を予定しており、詳細はこのあと両副会長のほうから説明いたしますが、これら大臨技の各種事業は会員の皆様の協力なしには実現不可能なことばかりで平成22年度も、どうか引き続きご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

2. 事務局計画案について

平成22年度事務局の大きな事業計画は、平成20年12月1日より施行された新しい公益法人制度に則って、(社)大阪府臨床検査技師会の公益社団法人への移行認可を得ることで、平成20年3月の総会において公益社団法人移行の承認後の移行に向けた進捗状況は、近畿各府県と情報を密に取り、主務官庁である大阪府と相談をしながら準備をすすめています。

平成22年度の移行計画としては当会の定款を公益社団法人に沿った内容に変更し、総会で会員の承認を得ること、府民のための公益事業と当会会員に特化した共益事業を明確に線引きして公益事業の比率を大きくし、公益社団法人への移行申請を円滑にして公益認定を得たいと考えています。また、庶務、広報活動を強化、充実に向けて定期総会・理事会の開催、法務局への役員登記申請や大阪府への事業報告など庶務活動を確実に進めるとともに会報、会員名簿、大臨技ニュースの発行や大臨技ホームページによる情報の提供と昨年から実施している求人情報サイトについても充実させたいと考えております。

会員および関連団体との交流強化では、学校教育機関、大阪府医師会、大阪府薬剤師会、大阪府看護協会、大阪府放射線技師会等の関連団体と協同事業をすすめて連携して交流を強化します。また、献血の推進活動やエイズ予防啓発活動、糖尿病予防啓発活動、がん予防啓発活動、手話講演会など障害者への理解を得る活動などの公益事業についても渉外部と協力して推進していきます。以上、事務局事業計画案について、ご審議よろしく申し上げます。

3. 事業局計画案について

平成22年度事業局計画案は、事業の企画推進にあたって各部一体となって対応することで、学術・組織活動の強化拡大と充実をはかり、より多くの事業により多くの会員が参加できる体制の確立を目指します。

1. 学術部は、①部門別研修会・講習会の開催。②部門間交流事業の開催。③他団体(大放技と合同フォーラム、看護協会と看護の日など)学術交流活動への対応。④公益活動として会

員に対し救急処置の啓発を目的として事業の開催。⑤府下教育機関との共同事業(大臨技教育セミナー)を7月に開催。

2. 情報組織部は、①新入会員研修会(7月3日 大臨技事務所)新入会員、未入会者を対象に技師会活動について理解を深めるための研修会。②技師長会(2月19日成人病センター(仮))検査室の管理運営に役立つ情報の提供および施設間の連携をとり、組織の強化につなげる。③組織調査(7月予定 アンケート調査)臨床検査技師の施設内での地位・待遇改善を目的に組織調査を実施。④その他 チーム医療部門とのコラボレートにより、技師のチーム医療への参画を支援。

【チーム医療部門】

- I 糖尿病療養指導部会
①糖尿病療養指導定例勉強会(4月、6月、10月、12月 大臨技事務所)テーマ:糖尿病療養指導時の知識と技術の向上、糖尿病療養指導士の資格啓蒙、スキルアップ、認定取得単位
②糖尿病療養指導士講演会(7月・2月 大阪大学中之島センター)テーマ:臨床検査技師のための療養指導士の充実 糖尿病療養指導士の資格啓蒙およびスキルアップ

II ICT部会

- ①定期講習会(6月、10月、2月)テーマ:ICT活動に貢献しよう! 院内感染に役立つ統計について ICTに必要な抗菌薬の基礎知識 ICNから見た細菌検査について
②実技講習会(5月22日~23日 関西医科大学)テーマ:ICT活動に必要な薬剤耐性菌の知識をマスターしよう! 薬剤耐性菌の検出方法(講義と実技研修)

III NST部会

- ①NST講演会1(6月市立岸和田市民病院)テーマ:NST活動への取組み 実践に向けての具体的な取組み
②NST講演会1(11月 市立岸和田市民病院)テーマ:NST認定試験対策

3. NST専門療法士を目指して

- 地区事業部は、①地域の会員相互の交流強化
②各支部における自由集会の開催
③府民参加型健康啓発事業に関する協力。

事業として、1.マタニティカーニバル2010 7月3日、4日大阪南港ATC 2. 会員交流会 10月(未定) 3. 施設連絡者会 2月(未定) 4. 各地区(北・中央・南)にてのそれぞれ2回の自由集会 5. 健康展(吹田市、豊中市、摂津市の予定)以上の事業を平成22年度計画しています。

ご審議の程、宜しくお願い致します。

以上の第1号議案「平成22年度各部事業計画案に関する件」について、総正会員の3分の2の多数をもって承認された。

2) 第2号議案 平成22年度予算案に関する件

「平成22年度予算案に関する件」については別紙「収支予算案」をもとに前年度比較増減を中心に説明があった。

収入の部では、会費収入について増減なし1,900万円を計上。事業収入について、学術講演会参加費173万円の増収を見込んで1,303万円を計上。補助金収入は前年と同額。当期収入合計3,330万円、前期繰越収支差額700万円、収入合計4,030万円を計上した。

支出の部1では、人件費での通勤交通費11万増711万円を計上。会議費と事務経費は前年度と同額、事務所費は賃借料51万増、水光熱費24万減で314万円、支出の部1小計で1,540万円を計上した。

支出の部2では、学術研究費について、研究費が166万増、企画費は教育機関研修を含め7万増、

1,272万円を計上。広告費として、22年度は名簿の発行75万円増、企画費3万円増で420万円を計上。情報組織費は検査運営・職域部会が部会名変更で組織調査費14万円とし、チーム医療費5万円減で120万円を計上。渉外費は、日臨技の共催金が入金されることを見込み献血推進18万円増、手話講座10万円増と他団体交流に5万円増、企画費1万円増で119万円計上。

地区事業費は地区会費3万円増、マタニティカーニバル費は日臨技の共催金が入金されることを見込み40万円、企画費は会場費を含め6万円増で123万円を計上。渉外部と地区事業部に関して日臨技共催金の入金がない場合減額となる。各種研修会費は同額。各種委員会費として、他委員会費に新たに内視鏡部会を含み2万円増、データ標準化事業を含み1万円増で109万円計上。諸経費について、雑費250万円減で276万円を計上。予備費として46万円を計上。支出の部2小計で2,490万円を計上した。

本年度は支出の部1,2を合計した当期支出は73万円増額の4,030万円を計上した。

以上の第2号議案「平成22年度予算案に関する件」について、総正会員の3分の2の多数をもって承認された。

3) 第3号議案 平成22・23年度役員選任に関する件

辻選挙管理委員長より1.平成22・23年度の役員について役員推薦委員長より候補者の提案があった。2.役員選挙規程第5章・第14条及び第15条に基づき選挙告示及び役員候補者名簿を会員に公示した。3.役員候補者のうち会長、副会長および監事については定数内のため役員選挙規程第5章・27条に基づき信任投票を省略することを本総会において提案したい。4.理事についても役員選挙規程第4章・第8条に基づき選任を提案したい。と報告および提案があった。

以上の第3号議案「平成22・23年度役員選任に関する件」は総正会員の3分の2の多数をもって承認された。

4) 第4号議案 日臨技総会代理人選出に関する件

今井会長より、日臨技総会代理人の選出について、当会から今井 宣子（大阪大学大学院）、運天 政五郎（東住吉森本病院）、竹浦 久司（多根総合病院）、吉本 勝美（白鷺病院）の4名が提案された。

以上の第4号議案「日臨技総会代理人選出に関する件」は質問、意見なく総正会員の3分の2の多数をもって承認された。

5) 第5号議案 その他

本岡氏（協和会病院）からホームページ上での求職情報の提供のお礼を述べた。新たに、1.求職者の掲示が出来るようにという意見がでた。2.新事務所の活用頻度の説明を問うた。

今井会長が問いに対し、求職者の掲示に関しては、個人情報に係わるとの答弁を示した。

運天副会長が問いに対し、情報の提供は出来るが求職の斡旋は法的な問題があるので出来ない旨と、事務所の活用状況は、増えつつあり平成22年度は会員が利用出来るようにしていくとの答弁があった。

9. 議事録署名人選任

真鍋議長より、議事録署名人として本日出席者の中から、朴 國允（共和病院）、久保田 芽里（大阪府立泉州救命救急センター）の2名が選任された。

10. 総会役員解任

真鍋議長より、平成21年度第2回定期総会の議案審議の終了が宣言され、総会役員は解任された。

11.

閉会の辞

竹浦副会長より、平成21年度第2回定期総会閉会の辞。（午後4時50分閉会）

平成22年3月20日

議事録署名人	朴 國允	印
同	久保田 芽里	印